

## 「いしかわ里山塾珠洲班における活動内容と成果」

団体名 いしかわ里山塾珠洲班

代表者名 塩谷 真由子

執筆者：塩谷真由子

### 1. はじめに（背景・目的・目標）

#### （1）背景

珠洲市の人口は減少し続け、2015年の人口は14,631人（2017年国勢調査速報値）であり、2040年には7,474人になると推測されている（図1）。

そこで、2018年5月からの珠洲での現地調査や米づくり・豆腐づくりの体験を通して、2019年1月25日にいしかわ里山塾（以下、里山塾）の珠洲班で得られた成果を直小学校の児童に出前授業をし、その地域の魅力を伝えることで、将来においてもその地域で暮らしていること、珠洲から離れて暮らしている人も最終的には珠洲に戻ってくるなど、珠洲市の将来の人口減少の歯止めにつながればよいと考える。

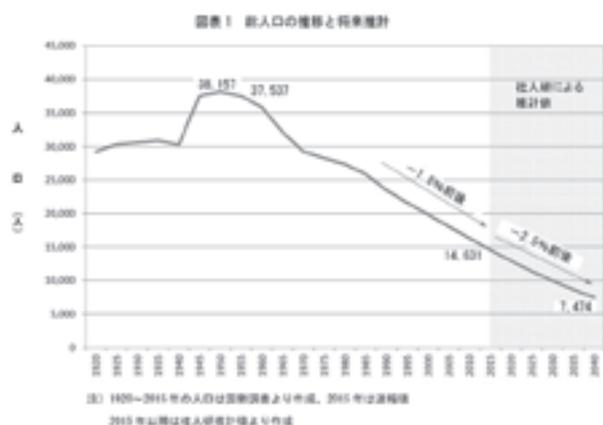


図1 珠洲市の総人口の推移と将来推計

出典：国勢調査（平成28年度）

#### （2）目的

里山塾を通して小学生に珠洲はととても魅力的な場所だと感じてもらうことを目的としている。また、小学生が大人に成長したときに、珠洲で暮らしている子ども珠洲以外で暮らしている子ども「もう一度珠洲で暮らしたい」と思ってもらえるようなきっかけの一つにしたいと考えている。

#### （3）授業目標

大学生がこれまでの現地調査・現地体験を通して学んだこと、感じたことを里山塾の際に、珠洲はととても魅力ある場所であると伝えていくことを目標とする。

### 2. 活動内容

田植え・稲刈り・豆腐づくり・焼き芋体験・貝採りを地域の方々と体験した。田植えの際、昼食を提供してくださるなど、人の温かさを感じることができ、さらには珠洲の自然に直に触れることができた（写真1、写真2）。



写真1 米づくり体験

地域の方々と学生が合同で米づくりが行われた。



写真2 豆腐づくり体験

大浜大豆を使用して豆腐づくりが行われた。

### 3. 成果・結果の考察

2019年1月25日いしかわ里山塾小学生出前授業が行われた（表1、写真3）。児童が将来、地域を支えていく担い手になってもらうためのきっかけの一つとして、これまでの珠洲での活動を含め珠洲の良さを伝えていく。

#### ○珠洲かるた

あらかじめ学生、児童、地域の方々（木ノ浦ビレッジ）で作成したものである。珠洲の地域資源や、

2018年5月から2019年1月の体験の中で学生が珠洲で感じたこと（人の温かさやつながり合い）や児童に伝えたいことなどがかるたとなっている。また、珠洲に初めて来た方に珠洲はこういうところだと紹介できるようかるたとなっている。

表1 出前授業（1/25）のタイムスケジュール

14:45~14:55	自己紹介
	里山里海、世界農業遺産の説明
14:55~15:10	珠洲かるた
15:10~15:20	珠洲についてのスピーチ
15:20~15:30	まとめ
	アンケート・感想

\*15:30~授業終わりに児童からの歌のプレゼントが行われた。

#### ○珠洲スピーチ

児童が学生に珠洲の紹介したいところを「わたしは○○を推薦します」というスピーチ形式での授業が行われた。

授業は、学生主体で行う珠洲かるたと、児童主体で行う珠洲スピーチの二本柱で行われた。児童は、大浜大豆や見附島、珠洲焼など珠洲ならではの地域資源の良さや守っていききたいものを学生に紹介した。図1のように、世界農業遺産を知っているかと聞いたところ（N=14）、「はい」と回答した児童は4人、「いいえ」と回答した児童は10人だった。

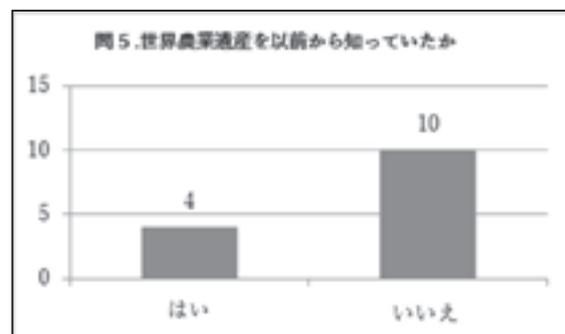


図1 地元小学生の世界農業遺産の認知度

結果、前半では相互のコミュニケーションを中心

とした珠洲かるたを行いながら珠洲についての知識を学び、後半では児童が学生に授業を行い、盛り上がりを見せた。また感想カードを配布し小学生の授業満足度や授業理解度を明らかにした。

#### 4. 今後の課題、展望

出前授業で実施したアンケート結果より、世界農業遺産の認知度が半数以上知らないという児童が多いことがわかる（図1）。また、これまで珠洲での現地活動を含めた地域全体の課題としては、その地域のUターン者や将来の担い手を増やしていくことである。児童が大人に成長した際、里山塾小学生出前授業を一つのきっかけとして、最終的には珠洲で暮らしていること。そして、珠洲市の人口が少しでも増加していくことが望まれる。そのためには、珠洲市内で行う取り組みや、内部の人と外部の人が共同で行うボランティアやイベントなどを積極的に開催することで多くの人に珠洲のことや世界農業遺産を知ってもらい、珠洲は素晴らしいところであるということを広めていく機会を増やすべきだと考えられる。そして、学生・若者達が人口減少・少子化が進んで存続できなくなるおそれのある自治体（珠洲市も入っている）、消滅可能都市から目をそむけず、改善していこうという気持ちを持って積極的に地域で行われるイベント等に参加していくべきである。



写真3 里山塾出前授業の際の様子風景

出典 筆者撮影（2019年1月25日）

#### 【参考文献】

・珠洲市人口ビジョン「総人口の推移と将来推計」  
<http://www.city.suzu.ishikawa.jp/data/open/cnt/3/1036/1/Vision.pdf>（アクセス日：2019/2/10）